

## 臨床研究協力をお願い

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 研究名                          | CT 画像データから得られる呼吸筋量、姿勢制御筋量、呼吸機能、肺癌術後合併症との関係の研究   |
| 対象                           | 2006 年 1 月から 2016 年 3 月までの間に、肺癌が疑われ本院にて CT 撮影装置を用いて、術前胸部腹部 CT を撮影され、CT の前後 3 ヶ月以内に肺機能検査を実施、その後当院にて肺癌手術を受けられた方   |
| 研究期間                         | 滋賀医科大学学長承認日から 2024 年 3 月 31 日まで   |
| 目的・概要                        | 呼吸機能は肺の状態だけでなく、体の様々な筋肉が影響します。呼吸を司る呼吸筋を鍛えるリハビリテーションで、呼吸機能や呼吸困難感が改善されることが知られています。また、喫煙が原因とされる慢性閉塞性肺疾患（COPD）の状態の人は、肋間筋が少ないほど COPD の急性増悪による入院のリスク高いという研究結果があります。この研究の目的は、呼吸筋や呼吸補助筋を含めた体の局所の筋肉の量が肺の状態、喫煙歴にどのような関連があるか、術後合併症発生頻度どのように関連するかを調べるのが目的です。 |
| 方法                           | 対象の方の、カルテに記載された病歴や検査情報、CT を利用し、評価を行います。手術で得られた組織を使用することは無く、また、新たな検査を行うこともありません。   |
| 効果                           | 体の筋肉のうち、どの筋肉が喫煙や呼吸機能に関連するのかが明確化します。また今後筋肉量による肺癌手術の術後合併症の術前予測や合併症回避の為に必要なリハビリテーションが具体化されることが期待されます。  |
| 副作用・危険・不利益等                  | 追加検査は行いませんので、この研究による身体への不利益はありません。  |
| 個人情報の保護                      | 個人情報は匿名化を行い、個人を特定できないようにして使用します。研究目的以外では使用しません。研究結果は研究対象者個人には開示しません。<br>研究協力を辞退されたい方やご質問のある方はご連絡下さい。  |
| 費用（医療費）                      | 追加の医療費は発生しません。  |
| 連絡先・問い合わせ先（試料・情報の管理についての責任者） | 滋賀医科大学 放射線科 研究代表者 村上 陽子<br>Tel, Fax 077-548-2536 Mail: monn@belle.shiga-med.ac.jp   |